

2010年度

科目名	人的資源管理論			コード	53710
担当教員	尾川 信之				
配当	人社3			コード	53710
開期	後期	講時	金曜日3限	単位数	2
授業テーマ	経営と人材との統合に内包されるマネジメントメカニズムを考える。				
目的と概要	<p>経営資源としてヒト(人)、モノ、カネ、情報が挙げられる。しかし、モノ、カネ、情報そのもの自体は自ら付加価値を生み出さない。それらを使って、付加価値のある製品やサービスに変換するのは、「人」という経営資源に他ならない。</p> <p>本来、この変換器として労働サービスを確保したいのだが、この労働サービスは、それを所有している人と切り離せない。従って、労働サービスを所有する人を雇用することになる。</p> <p>しかし、この労働サービスを所有する人には、意識、感情などがあり、それらは労働サービスの質や量に影響を与える。そのため、企業や組織体は労働サービスの最大化を図るために、人に働きかけることになる。人的資源管理論では、経営に際して、この人に働きかけるすべてのことを扱う。</p>				
成績評価法	<p>・期末試験 50点</p> <p>・各回の授業への貢献度 30点(2点×15回)</p> <p>・授業中のレポート 20点(A:20点、B:14点、C:7点)</p>				
テキスト	配付をします。				
参考書	必要に応じて紹介します。				
履修に当たっての注意・助言	<p>受験停止</p> <p>6回以上欠席した場合は、期末試験の受験資格を失います。</p>				
講義計画					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業全体概要、経営における人的資源管理</li> <li>2. 日本型雇用構造の検証</li> <li>3. 元気な企業、元気な組織の条件</li> <li>4. 採用、配置、異動</li> <li>5. 教育訓練・能力開発(1)OJT、Off-JT、自己啓発</li> <li>6. 教育訓練・能力開発(2)階層別教育、選抜教育</li> <li>7. 教育訓練・能力開発(3)経営者教育 ～ジェネラルエレクトリック社の事例など～</li> <li>8. 人事考課 ～目標管理の事例～</li> <li>9. 賃金制度(1)賃金水準の決定要素</li> <li>10. 賃金制度(2)年功序列、職制序列、職能資格</li> <li>11. 昇進 ～一般社員の昇進、日本の役員昇進とその課題～</li> <li>12. モチベーションとインセンティブ ～ホーソン実験が示唆するもの～</li> <li>13. リーダーシップとマネジメント</li> <li>14. 退職・解雇、自発的離職と非自発的離職</li> <li>15. まとめ</li> </ol>					